

日曜学校だより 保護者のみなさまへ

2014年10月12日号 vol.4

みなさん、こんにちは。

秋も深まり、だんだんと肌寒くなってきました。油断すると風邪をひいたりしますが、季節に反して子どもたちはますます、はつらつとしているようです。

さて、みなさん、お寺、またはお坊さんにどういうイメージをお持ちでしょうか？

お寺といえますと、「修行」というイメージがあると思いますが、実は浄土真宗にはいわゆる滝に打たれたり、火がついた炭の上を歩いたり、山を駆けめぐるといった修行がありません。こういう仏道を在家仏教といえます。

山にこもって修行をするのではなく、街の人々と同じ暮らしをしながら、おみのりを聞かせていただくのであります。(そう、偉そうなものでもありませんが。)

ですから、周りにはいろいろな気になるものがあります。生活のこと、人付き合い、家族、テレビ、パソコン、などなど…。

その中で、いつまでたってもすっきりとした心になれないわが身が知らされます。

しかし、親鸞聖人のおみのりは、「煩惱を振り捨てて悟ることが、あなたのすべきこと」とおっしゃいませんでした。

煩惱があるなら、あるまま、不安なら不安のまま、そのままお救いくださる阿弥陀さまがいらっしやいますよ。とおしめしてくださいました。

どうにかなれと、私におっしゃるのではなく、ただただ、「大丈夫、この仏がいるよ」と、安心を与えてくださるのであります。

まさに、私たちのための教えであるかと頂戴するところであり、子どもたちともこのみ教えを喜んでいきたいなと思います。

賢明寺ホームページ <http://kenmyouji.com>

Facebook もあります！

